

Urban Transformation & Countryside Revitalization: Assessing the Chances & Challenges (都市変容と地域再生: その可能性と課題について)

関西学院大学では、ドイツのドルトムント工科大学から研究者をお迎えし、ジャン・モネ事業のキックオフワークショップを開催します。両校は、ジャン・モネ事業をとおして、最近の都市の縮退、地域産業開発、地方再生の傾向を国際的な視点から分析し、地方と都市開発に関する共同研究を行います。このワークショップは英語で行います。一般の方々もご参加いただけます。(参加費無料)

* ジャン・モネ事業: EUからの助成金を得て行う、EUに関する教育研究事業

日時: 2019年11月27日(水) 15時30分 – 18時30分

会場: 関西学院大学図書館ホール(西宮上ヶ原キャンパス)
スケジュール

15時30分 開会

15時40分 発表1

“Urban shrinkage in comparative perspective”

(縮退する都市の比較)

トーステン・ヴィーヒマン氏

(ドルトムント工科大学空間計画学部長・教授)

16時10分 発表2

“Renewable Energies - a Chance for New Regional Industry Development? The Case of the “Living Lab Energy-Avant-garde Anhalt”

(再生可能エネルギー: 新しい地域産業開発の可能性を探る

“Living Lab Energy-Avant-garde Anhalt”の事例)

ホルガー・ブングシェ氏

(関西学院大学国際学部教授)

16時40分 休憩

16時50分 発表3

“Revitalisation of the Tamba Sasayama region”

(丹波篠山地域の再生)

アンナ・シュラーデ氏

(関西学院大学産業研究所准教授)

17時15分 発表4

“Transformation of Polycentric Metropolitan Areas - A Future Project by the Research Training Group”

(多極化する都市部の変容

—リサーチ・トレーニング・グループによる未来プロジェクト)

レティツィア・インブレス氏

(ドルトムント工科大学空間計画学部主任研究員)

17時40分 質疑応答・パネルディスカッション

“How to make urban and rural areas more future-proof?”

(将来的にも持続可能な都市、地方づくりとは)

トーステン・ヴィーヒマン氏

レティツィア・インブレス氏

ホルガー・ブングシェ氏

アンナ・シュラーデ氏

18時30分 閉会

